

モーツァルトの音楽をたのしむ会

第9回 レクチャーコンサート

～ハイドンからモーツァルトへ～

ハイドン

弦楽四重奏曲 第38番
変ホ長調 op.33-2「冗談」

モーツァルト

弦楽四重奏曲 第19番
ハ長調 K.465「不協和音」

演奏とお話

カルテット・ノーヴァ

第1ヴァイオリン:倉石 篤志

ヴィオラ:矢崎 裕一

第2ヴァイオリン:湯山 怜史

チェロ:三間 早苗

7月28日(日) 開場 13:30 開演 14:00

【会場】 てくのかわさき・てくのホール

(JR南武線 武蔵溝ノ口駅より徒歩5分、東急田園都市線 溝の口駅より徒歩5分)

【参加費】 1,000円



モーツァルトの音楽をたのしむ会・事務局

お申込・お問い合わせは事務局までお願いします。

TEL 080-2243-1254 FAX 044-944-3171 E-MAIL mozart@r-suenaga.com

プロフィール

倉石 篤志

神奈川県立弥栄東高校音楽コース、東京音楽大学を経てパリ・エコールノルマル音楽院卒業。
ヴァイオリンを仕明皓生、篠崎功子、豊嶋泰嗣、M・ルディーゼス、A・モグリア、ヴィオラを兎東俊之、豊嶋泰嗣、室内楽をN・パタルチェック、指揮を高階正光、湯浅勇治の各氏に師事。
1992年日本クラシック音楽コンクール全国大会第3位。
1997年国立音楽大学にて劇団カリヨンの音楽劇「あしながおじさん」の脚本・作曲・指揮。
2005年より若手音楽家で結成されたロータス室内管弦楽団を主宰、指揮する。
現在はヴァイオリン、ヴィオラ奏者、指揮者として活動中。



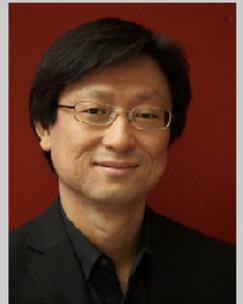
湯山 怜史

7歳よりヴァイオリンを始める。
桐朋女子高等学校（共学）、桐朋学園大学卒業。
辰巳明子、西田和子、森川ちひろの各氏に師事。
後進の指導の他、ソロ、室内楽や各地のオーケストラにて首席奏者として演奏するなど、積極的に活躍中。
おた芸術学校講師。桐朋学園大学付属「こどものための音楽教室」太田分室非常勤講師。



矢崎 裕一

マンハイム音楽大学ヴィオラ科、室内楽科を修了。在学中よりハイデルベルク市立劇場管弦楽団研修員を務める。その後マンハイム国民劇場管弦楽団、ビーレフェルト・フィルハーモニーに所属。また、トーマス・ファイの指揮するハイデルベルク交響楽団、マンハイム・モーツァルト管弦楽団の両オーケストラの首席奏者として数多くのCD録音に参加。中でもサリエリの序曲、舞台音楽集は、2011年米グラミー賞最優秀オーケストラ・パフォーマンス部門にノミネートされた。また室内楽奏者、古楽器奏者としても数多くの演奏会、CD及び放送録音に参加している。これまでにヴィオラを、河合訓子、小林秀子、ウォルフラム・クリスト、デトレフ・グロース、室内楽をスザンナ・ラーベンシュラク、マーティン・ロヴェット、メゾー・ラーズロの各氏に師事。現在はハーゲン市立劇場管弦楽団に在籍。



三間 早苗

桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業、同大学研究科修了。卒業後、ドイツ・ヘッペンハイム、イギリス・ウィンダミア等国内外の音楽アカデミーやフェスティバルなどにおいて研鑽を積む。チェロを音川健二、金木博幸、称原哲雄の各氏に、室内楽を久保良治、ゴールドベルク山根美代子の各氏に師事。
2003年、大学の同期生を中心にカルテット・カノーロを結成。またヴァイオリン・チェロ・アコーディオン・ピアノのユニット"アージュ"のメンバーとしてアルバムを"アージュデビュー"をリリースする。
現在、室内楽、オーケストラ、ライブなど幅広い分野での活動を行っている。



【チケットFAX申し込み用フォーム】

送信先/FAX 044-944-3171

こちらの面をFAXにてご送信ください。反対の面を送信されますと申し込みを承れません。ご注意ください！

演奏会名：第9回レクチャーコンサート

ふりがな	
お名前	
ご住所	〒 -
お電話番号	☎ - -
申込枚数	{ }枚(1枚1,000円)

※チケットをお申し込みいただきましたら、当日会場にてお取り置きさせていただきます。
※ここにご記入いただいた個人情報は「モーツァルトの音楽をたのしむ会」の活動での利用のみといたします。
他の用途での利用や第三者への提供はいたしません。